



ねぎし

横浜市立根岸小学校
学校だより
4 月 号
令和8年4月8日

ホームページはこちら→



令和8年度スタート 「好き」や「？」を大切に

校長 杉山 真理子

春のやわらかな陽射しとともに、いよいよ令和8年度が始まりました。6日には、6年生が新年度の準備に登校しました。雑巾を手に、1年生の教室を一生懸命掃除する姿や黒板を飾り付ける姿に、最高学年として学校を支えようとする意欲を感じました。7日には、進級を迎えた子どもたちが、新しい学年や学校生活に期待と少しの不安を胸に登校してきました。始業式が終わるころには、どの子の表情もキラキラと輝き、この1年のやる気や挑戦していこうとする思いがみなぎっていました。また、1年生も入学してきました。最高学年の6年生に支えられ、2年生から歌のプレゼントを受け取り、7日には124名の1年生が根岸小学校の仲間となりました。式中にくすちゃんから1年生にクイズが出題され、明日からの学校の「？」をたくさん見つけてほしいと思います。全校児童は655名となり、新しい学年がそれぞれスタートしました。



本校は、今年度も教育目標「笑顔と拍手につつまれて 夢に挑戦 根岸の子」を大切にしながら、5つの柱（知・徳・体・公・開）に基づく教育活動を進めてまいります。基礎学力の定着、豊かな心の育成、健康な体づくり、地域とのつながり、コミュニケーション力の向上——いずれも子どもたちが未来を切り拓く力につながる大切な学びです。

新しい学年・新しい仲間との出会いは、子どもたちにとって大きな成長のチャンスです。切磋琢磨しながらも、「好き」や「夢中」を見つける取組、「不思議」「何故」などの疑問を見つけ、追究しようとする授業を大切にして取り組んでいきます。学校全体で子どもの可能性を引き出し、学ぶ意欲を応援していきます。

横浜市では、全市立小学校で「チーム学年経営」を実施しています。根岸小学校では、今まで「チーム学年経営」に取り組んできましたが、さらに充実させていきます。これまでは、学年内で一部教科分担制や交換制をとり入れ、専科教員や学年担任がどのクラスでも授業を行うことに取り組んできました。学年担任全員で学年の子どもたちをみていくという体制をとってきました。今年度は3年生以上で、学級担任の他に「チーム担任制度推進教諭」をおき、学年全体のサポートの充実を図っていきます。「チーム担任制度推進教諭」は学年の一員として、学級担任が行う「朝の会」や「帰りの会」「給食指導」や「清掃指導」に入ったり、ときには放課後の保護者の方の相談や面談等に同席したりすることも行います。さらに、朝の会などの指導に交換して入ることで、より学年職員みんなで学年の子どもたちの指導にあたる体制にします。複数の教師で子どもたちをみていくことで、一人一人のよさやがんばり、適切な支援や評価がより多面的になること、子どもたちが相談できる大人を増やし相談しやすくすること、子どもたちの理解の深まりや安心につながることを目指していきます。

今年度も全教職員一丸となって取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。



「笑顔と拍手につつまれて 夢に挑戦根岸の子」

～自らの可能性を信じ、夢の実現を目ざして、たくましくあゆみ続ける子の育成～

- 【知】基礎・基本の学力を身につけ、粘り強く課題に取り組み、解決する子を育てます。
- 【徳】互いの良さを認め、思いやりの心と感謝の気持ちを持ち、いつでも正しく判断できる子を育てます。
- 【体】自分の健康に関心をもち、進んで健康保持に努め、自らの体力を高めていく子を育てます。
- 【公】「根岸のまち」に関心を高め、まちの一員として、地域の役に立とうとする子を育てます。
- 【開】コミュニケーション力を高め、誰とでもよりよく関わろうとする子を育てます。